システムキッチン

電動昇降吊戸棚（オートダウンウォール）

取付・設置説明書

この説明書は
お客様に必ずお渡しください。

必ずお守りください

表示について

この取付・設置説明書では、製品を安全に正しく取付・設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示を行っています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

この表示を実行しないで取付・設置をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してあります。

⚠ 危険

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されることを示しています。

⚠ 注意

この表示を実行しないで取付・設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示してあります。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

電動昇降吊戸棚に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後お引き渡し時に、お客さまにお渡しください。

⚠ 警告

建設工事（電気工事、管工事、大工工事、建具工事）は関連する法令・規程にしたがって、必ず「有資格者」がおこなう。
守らない場合は、法令に違反します。

ウォールキャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく取付ける。
ウォールキャビネットが落下して、けがをするおそれがあります。

大工工事（取付下地） キッチン取付・設置

ウォールキャビネットは天井から吊らない。
ウォールキャビネットが落下して、けがをするおそれがあります。

電気・ガス・水道工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
接続や固定が不完全な場合は、発煙や、火災、漏水の原因になります。

電源プラグのほこりを取り除き、プラグの根元までしっかり差し込む。

傷んだ電源コードやプラグ、差し込みのゆるいコンセントは、使用しない。
（電源コードに重いものを乗せたり、加熱したり、必要以上に引っ張らない。）

本体や操作部を水洗いしたり、水をかけたりしない。
感電や火災、故障の原因となります。

触れるな

分解禁止

⚠ 危険

機器に手を加えない。
設置工事で必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。
感電や火災の原因になる恐れがあります。

すき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。
感電や火災の原因になる恐れがあります。

電源コードを切断しない。
切断しますと感電や漏電による火災の原因になります。また、アフターサービスができなくなります。

⚠ 注意

設置完了後は、幕板の傾き、がたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認する。
使用中に幕板が落下して、けがをするおそれがあります。

キッチン取付・設置

取付け・仕上げに使われる、溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、記載されている注意事項にしたがって、正しく使用する。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。

キッチン取付・設置

キャビネットを設置する際には、水平・垂直のレベルを出す。
レベルが出ていないと、正常に昇降動作しません。

キッチン取付・設置

棚板を設置するときは、棚受けを隙間のないよう根元まで確実に差し込む。
棚板がはずれ収納物が落下して、ケガをするおそれがあります。

本製品のホルムアルデヒド発散区分

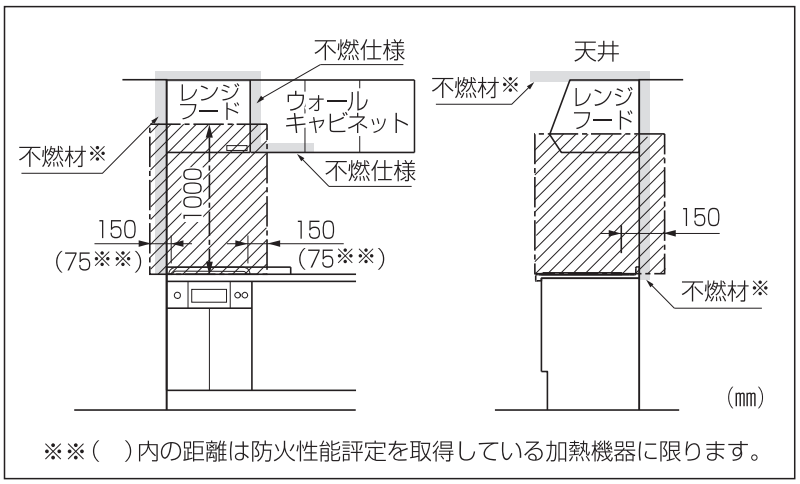
表示内容					
1	商品名	電動昇降吊戸棚	6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
2	企業名	株式会社LIXIL			
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも　F☆☆☆☆			
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」に基づく キッチン・バス工業会表示指針による	7	本表示に対するお問い合せ先	お客さま相談センター TEL・FAXはキッチン取扱説明書（ウラ表紙）に記載
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。			

設置前の確認

火災予防条例（東京都）では、右図斜線内に可燃物があってはならないと規定されています。

・斜線内に入るウォールキャビネットやエンドパネルは、不燃仕様のものを設置し、斜線内に入る壁面は関連する法令・規程に準じ不燃材を使用してください。

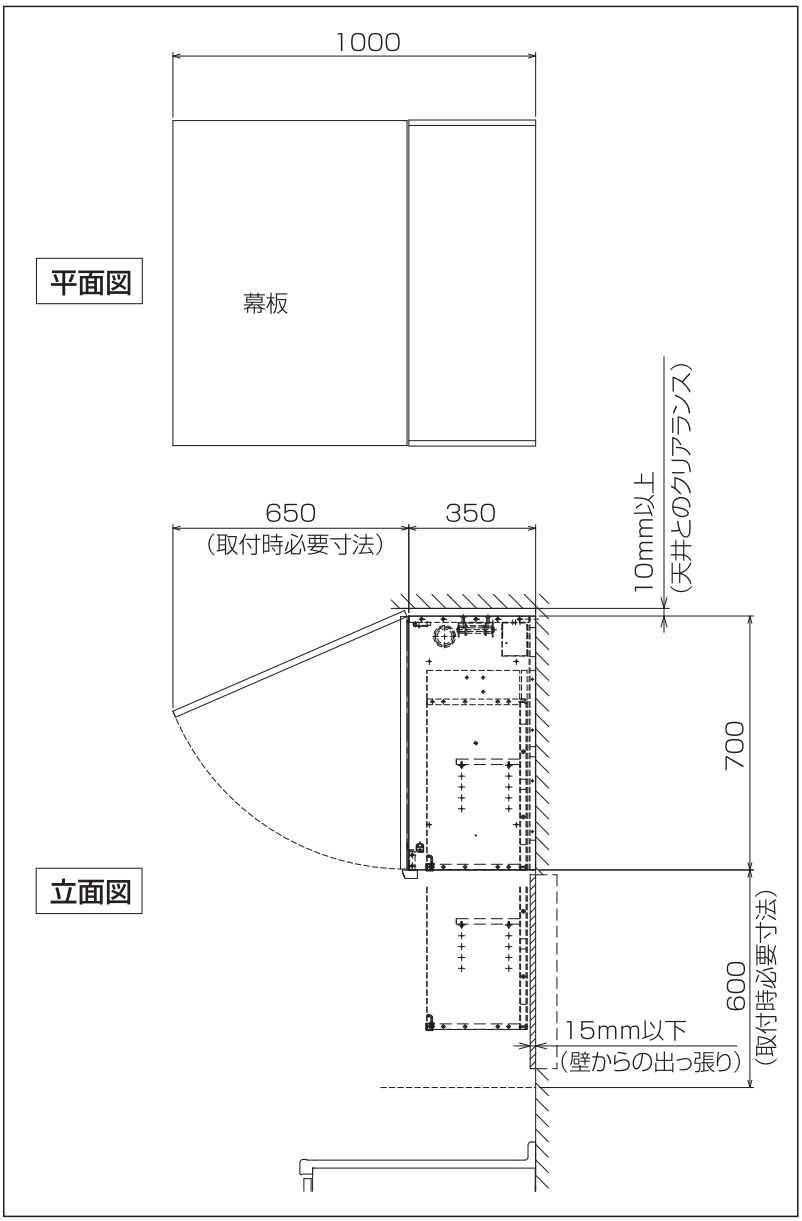
・レンジフードに隣接するウォールキャビネットやエンドパネルは不燃仕様のものを設置し、壁面および天井は関連する法令・規程に準じ、不燃材を使用してください。
（下地が準不燃材以下で仕上げている場合は、加熱機器を運転させた時に下地の表面が室温を35℃で100℃を超えないことが条件です。詳細に関しては、各自治体へ確認ください。）



※※（　）内の距離は防火性能評定を取得している加熱機器に限ります。

これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。
※詳しくは、【所轄の消防署】へ確認してください。

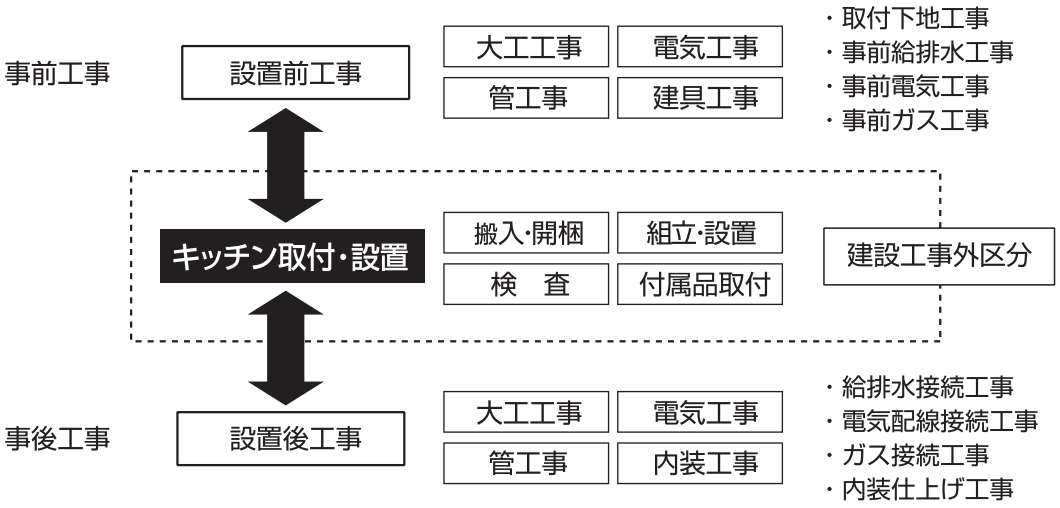
●所定の位置（P7 “コンセント取付位置” 参照）にコンセントが付設されていることを確認してください。
（付設されていても電源がきていない場合は、延長コードと仮電源が必要です。）
●下部、昇降部分（P6 “取付位置” 参照）に物が設置されないことを確認してください。
●下部に加熱機器（ガス、電気器具など）が設置されない場所であることを確認してください。
●アウターキャビネットと天井とのクリアランスが10㎜以上あるか確認してください。
●オートダウンウォールは取付設置時に右図のスペースを必要とします。突起物など当たる物がないことを確認してください。
●窓枠、マワリ縁等、枠の出しろは15㎜以下であることを確認してください。
●取付・設置の前にこの取付・設置説明書をお読み頂き、十分ご理解の上取付・設置を行ってください。
（取付・設置説明書に記載されていない方法で取付･設置されて発生した故障は保証致しかねます。）



工事区分

⚠警告	本説明書は、システムキッチンの本体組立・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。 建設工事は、関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。 流通業者（販売店）を通して「本体の組立・設置」をおこなう場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体組立・設置」を区別しておこなってください。

■「キッチンの取付・設置」とユニット工事区分



※キッチンの取付・設置以外は、下記の資格条件を有した者が工事をおこないます。

工事区分	資　格　等　条　件
電気工事	第一・二種電気工事士・電気主任技術者・建築設備士など
大工工事	一・二級建築士・建築大工「技能検定」合格者など
管 工 事	一・二級管工事施工管理技士・建築設備士・給水装置工事主任技術者など

工事手順

取付下地の取付け　大工工事
配管の立ち上げ　管 工 事
電源線の取出し・コンセントの取付　電気工事

↓

キッチンパネルの取付け
バックパネルの取付け　キッチン取付・設置

↓

レンジフードの取付け　キッチン取付・設置

↓

ウォールキャビネットの取付け
ワークユニットの取付け　キッチン取付・設置

↓

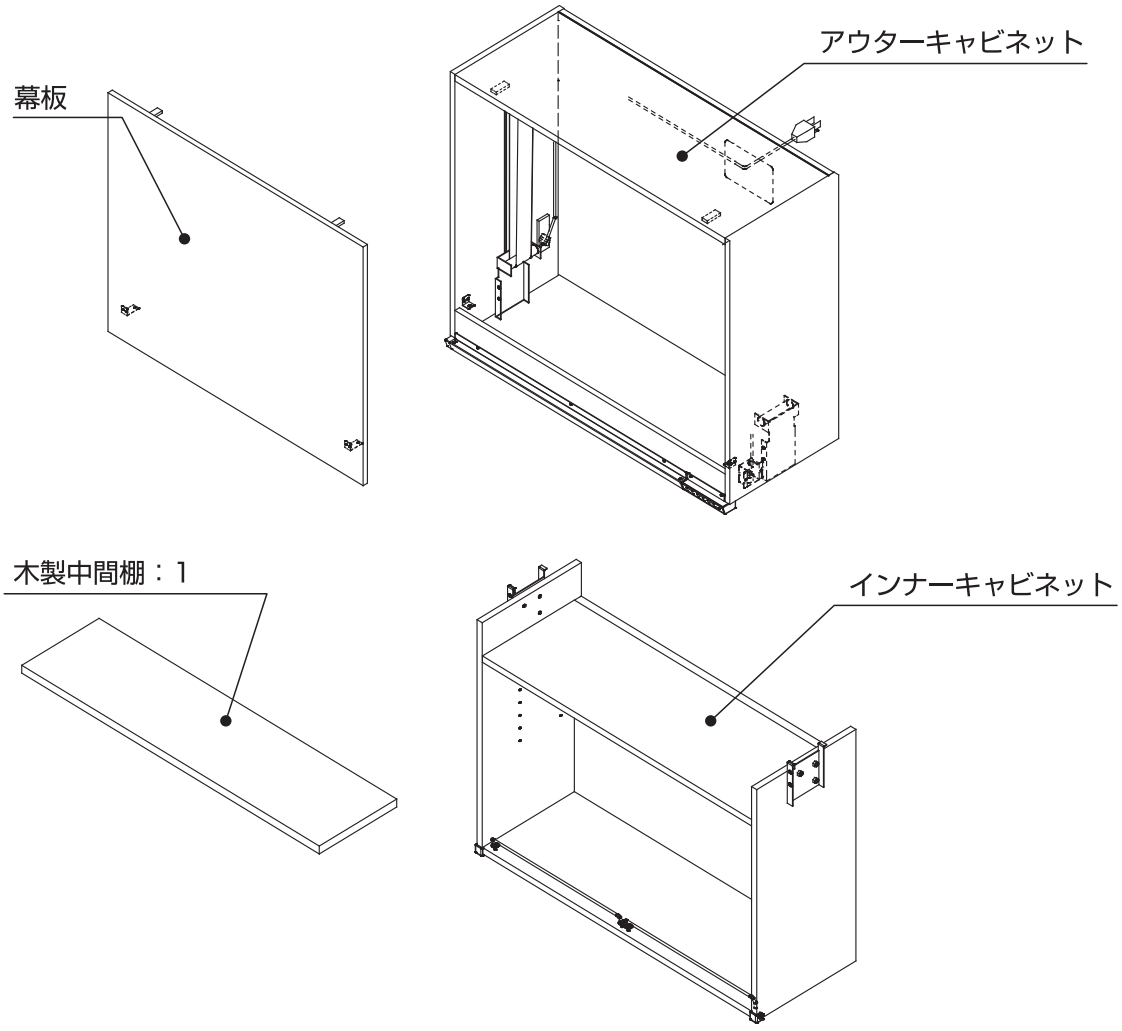
配管の接続　管 工 事
電源線の接続　電気工事
目地処理　内装工事

※キッチンと壁面床面等の間をシリコーン等で目地処理（止水）する場合は、内装工事区分となる場合があります。

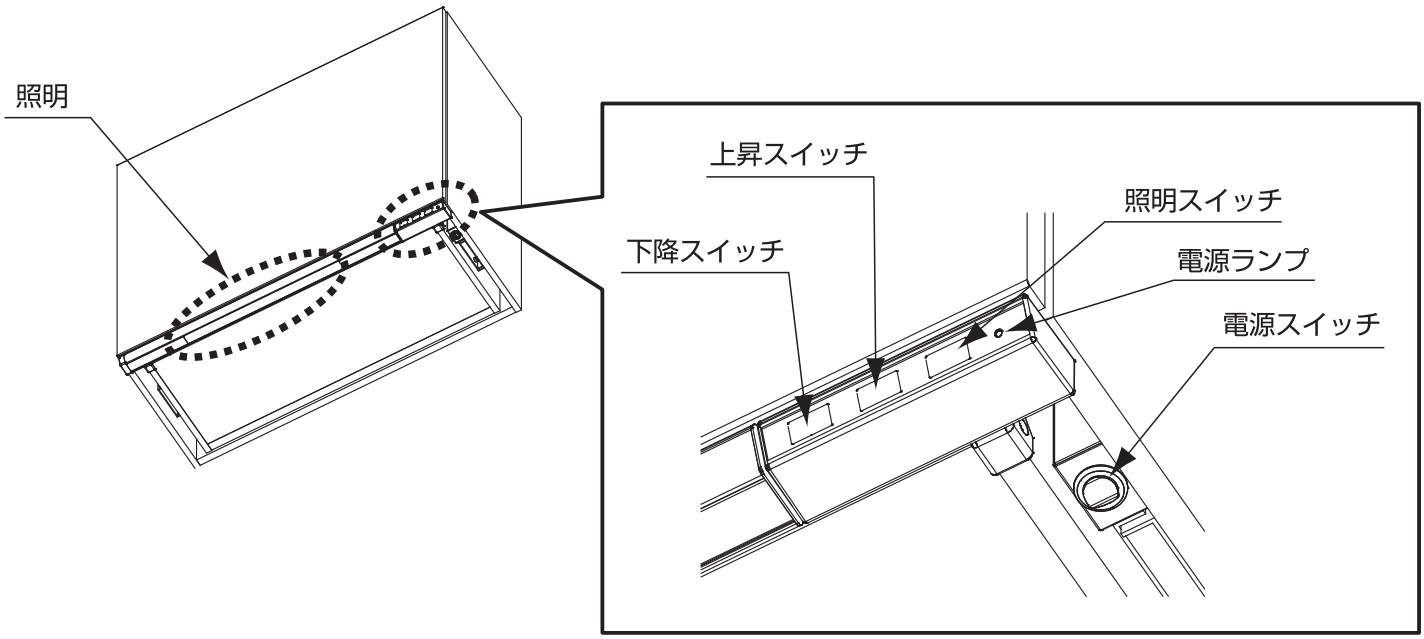
各部の名称

●システムの構成によって仕様が異なることがあります。
●機器各部の名前と主なはたらき、機器本体の取り付け位置を確認してください。

本　体

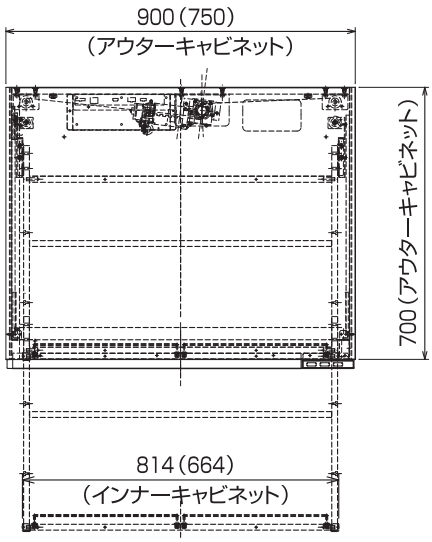


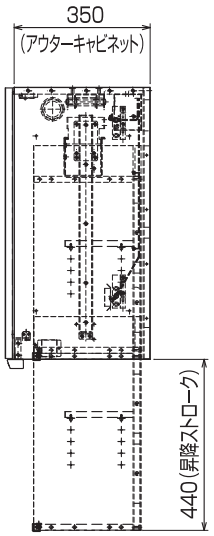
電源スイッチ・操作スイッチ・照明



取付位置

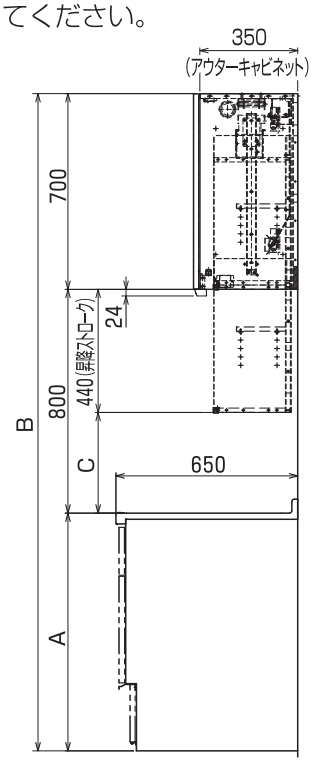
下図の標準高さを参考にしてください。





A (キッチン高さ)	B (総高さ)
900	2,350
875	2,350
850	2,350
825	2,300
800	2,300

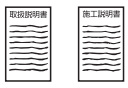
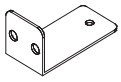
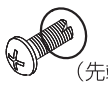
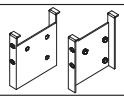
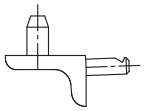
C (インナーキャビネットとカウンターとの距離)
310
335
360
335
360



※( )内寸法は間口750の場合を示す。
※アウターキャビネットと天井とのクリアランスが10㎜以上必要となります。

付属部品一覧

製品は、アウターキャビネット・インナーキャビネット・幕板セット(扉セット)の3梱包となっています。
また、同梱部品には次の部品が入っています。取付け前に確認してください。設置には必ずこの部品を使用してください。

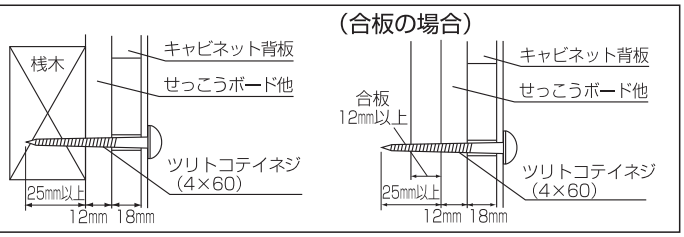
	部品名	外観	数量	用途
アウターキャビネット	取扱説明書 取付・設置説明書		各1部	―――
	ツリトコテイネジ4×60 (頭白塗装)		各4	アウターキャビネットの取付け
	NSKレンケツネジ4.5×27 (足付キャップ付)		各4	アウターキャビネットと隣りのキャビネットとの連結
インナーキャビネット	固定金具		2	幕板とアウターキャビネットの固定
	トラスネジ φ4×12		4	固定金具と幕板の締結
	トラスネジ2種 φ4×10	 (先端割れ)	2	幕板とアウターキャビネットの固定
	M6×30連結ネジ		6	インナーとインナー固定金具の連結
	インナー固定金具		R/L 各1	インナーキャビネットとアウターキャビネットの連結
	M5×20固定ネジ (ナット、スプリング付)		4セット	インナーキャビネットとアウターキャビネットの連結
	棚板受け鉄ダボ		4	棚板設置時使用

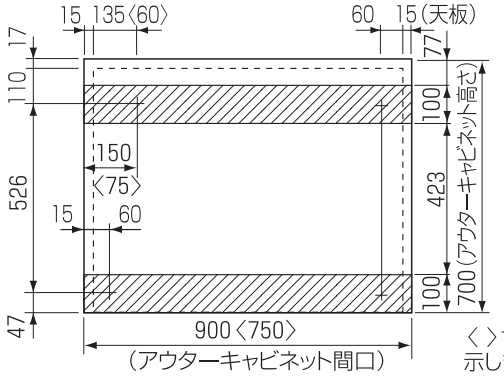
1 事前工事

1-1 取付桟の取付け（事前工事） 大工工事

⚠ 警 告

- 取付桟の取付けは、関連する法令・規程にしたがって、必ず「有資格者」又は「認定者」がおこなう。
- 本体重量と収納重量（25kg/1キャビネット）に対して十分な取付桟の強度をもたせる。
- 取付桟は硬い材料（広葉樹、松、ツカなど）で虫くいやくされのないものを使用する。
- 取付桟は厚さ30㎜以上、巾100㎜以上（合板の場合は厚さ12㎜以上）のものを使用する。





〈 〉寸法は、W750を示します。

1-2 電気工事（事前工事）

●電源はAC100V 50Hz／60Hzです。 電気工事
コンセントは専用のものを取付けてください。

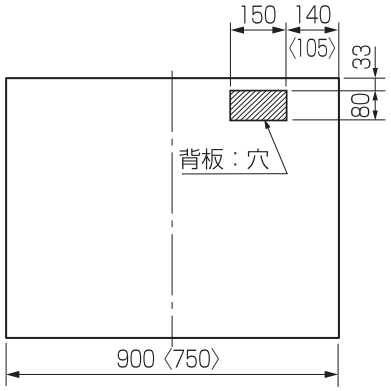
⚠ 警告

電気工事は、関連する法令・規程にしたがって、必ず「有資格者」がおこなう。

傷んだ電源コードやプラグ、差し込みのゆるいコンセントは、使用しない。 禁止
（電源コードに重いものを乗せたり、加熱したり、必要以上に引っ張らないでください。）

■コンセント取付位置（単位：㎜）

アウターキャビネット背板に150×80コンセント用穴があります。
コンセント用穴の範囲の躯体にAC125V−15A接地極付きコンセント（別売）を設置してください。



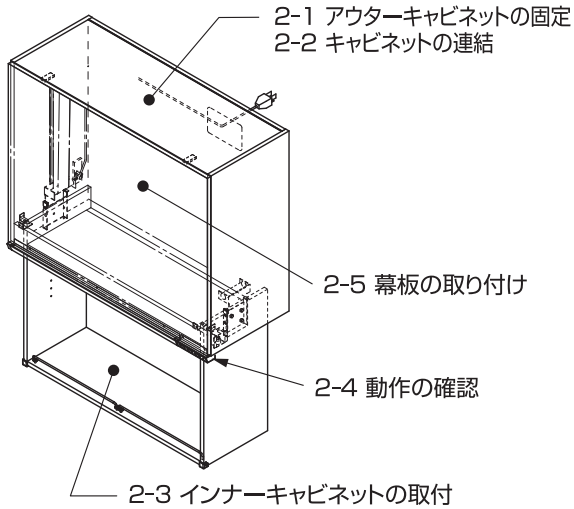
電気工事

〈 〉寸法は、W750を示します。

2 キャビネットの取付

⚠ 警告 以下の事項と条件を必ず守って取付・設置する。
守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。

- 取付ネジをしめつけすぎて空回りしたり、ネジ頭をとばしたりしないように確実に固定してください。
- アウターキャビネットの取付は必ず同梱しているトラスタッピンネジを使用し、取付桟にネジが25㎜以上かかるようにしてください。
- 躯体側にネジ下穴をあける場合はφ2.6〜φ2.7であけてください。それ以上あけるとネジの保持力が弱くなります。
- アウターキャビネットは天板が水平になるように取付けてください。

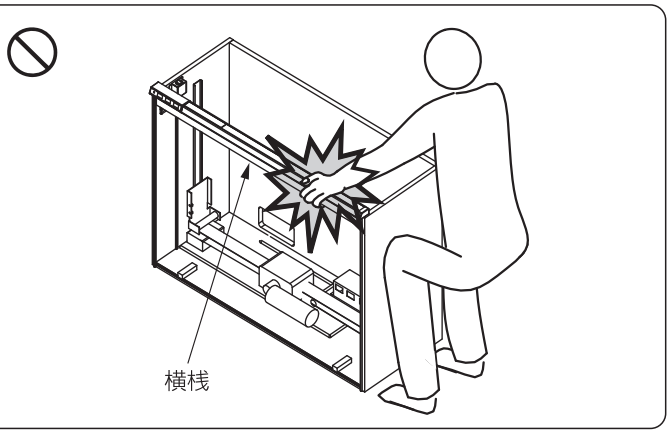


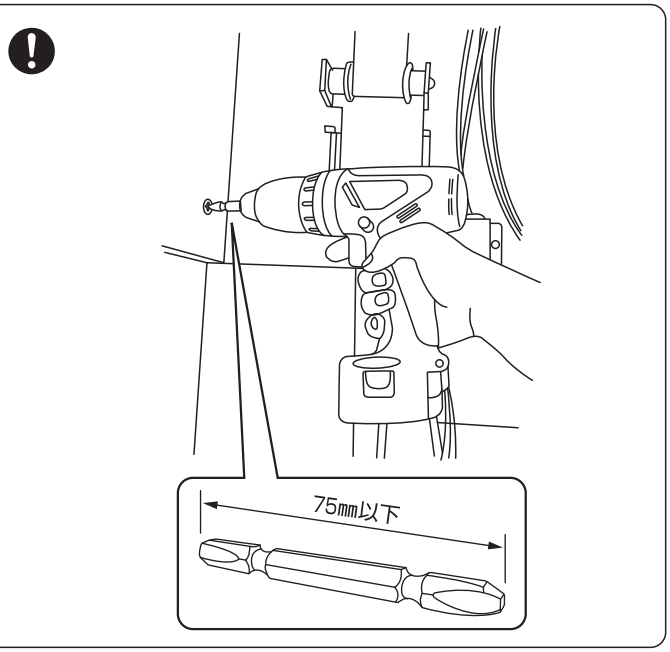
2-1 アウターキャビネットの固定

キャビネット取り回し時、横桟を持たない。
照明ユニット、操作ユニットが破損するおそれがあります。

インナーキャビネットの取り付けが完了するまで、横桟の養生材を外さない。
インナー取り付け時の養生も兼ねています。

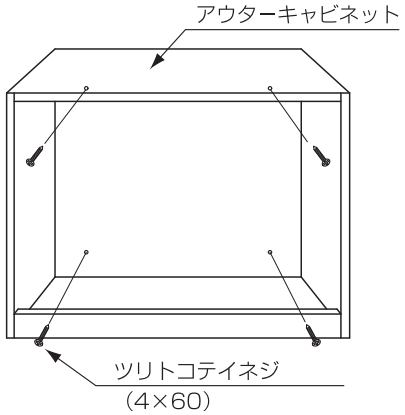
大皿フレキタッピンネジは、長さ75㎜以下のビットで固定する。
インパクトドライバーがキャビネット内に入らずネジを真っ直ぐ打つことができません。





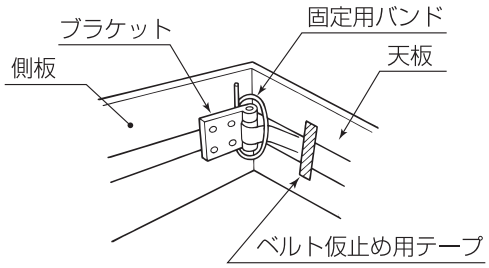
(1) キャビネットの固定

●同梱のネジでアウターキャビネットを固定します。



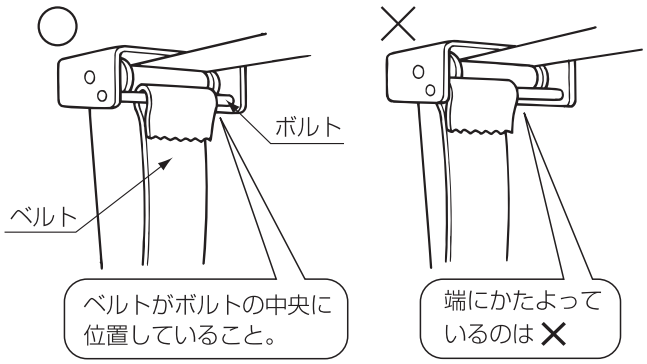
(2) ブラケット固定バンドの取外し

●ブラケットを固定しているバンドとベルトを仮固定しているテープを取外します。



(3) ベルトの位置確認

●ベルトがボルトの中央にかかっているよう調整します。端にかたよっていると動作不良につながります。

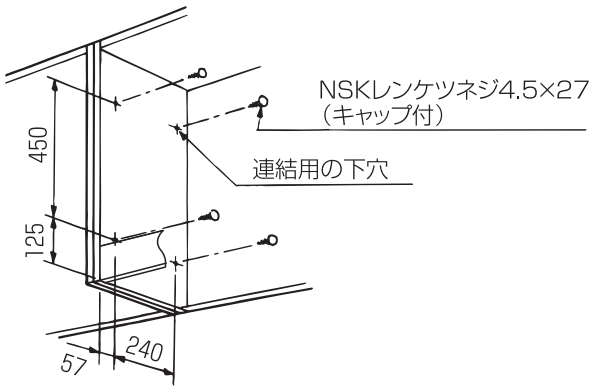


2-2 キャビネットの連結

連結、取付けの際キャビネット各部を歪ませない。
作動しなくなることがあります。

●キャビネットの前面を合わせて、同梱のネジで固定してください。

●アウターキャビネットの内側寸法（上奥と下手前）を確認してください。
（寸法は900㎜で868～869㎜、750㎜で718～719㎜）



2-3 インナーキャビネットの取付

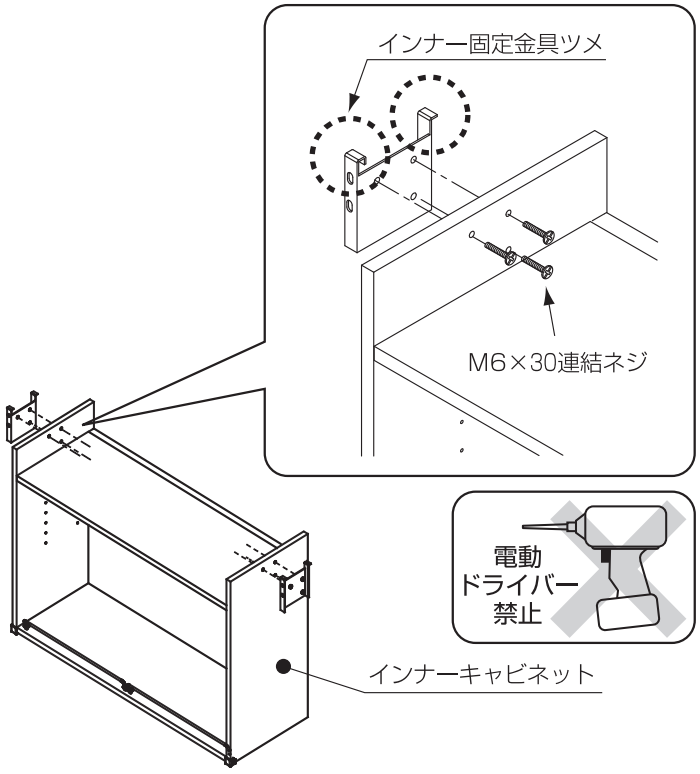
禁止 **インナーキャビネットの取り付けが完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まない。**
※誤ってスイッチに触れるとモータが駆動し、けがをするおそれやモータを損傷するおそれがあります。

必ず行う **インナーキャビネットを置く際には梱包材を下に敷く。**
※インナーキャビネットが傷つくおそれがあります。

(1) インナー固定金具の取り付け

●同梱のインナー固定金具をM6×30連結ネジを使い、インナーに取り付けます。

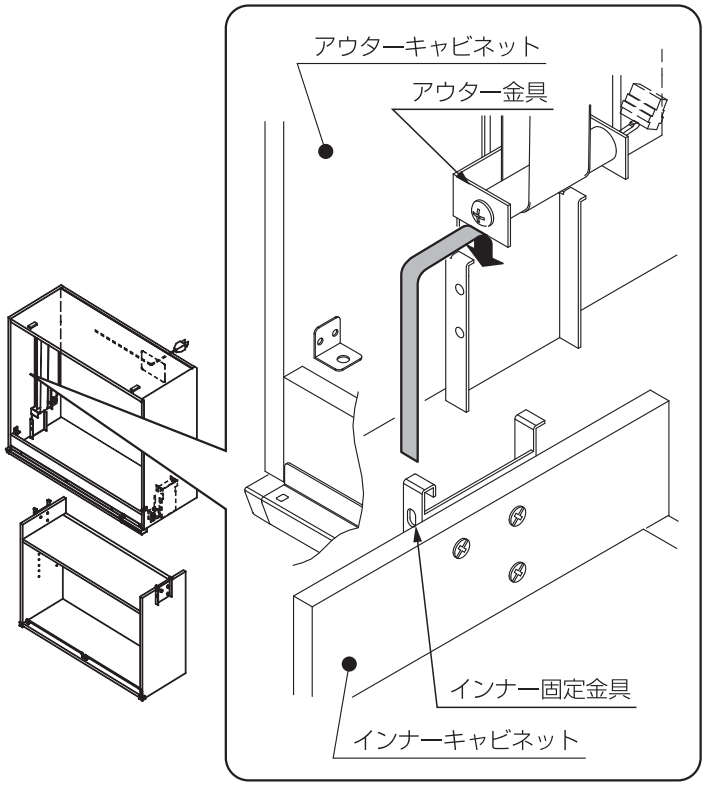
●インナー固定金具がキャビネットの外側に、金具のツメがキャビネット後ろ側を向くように取り付けます。



(2) インナーキャビネット仮設置

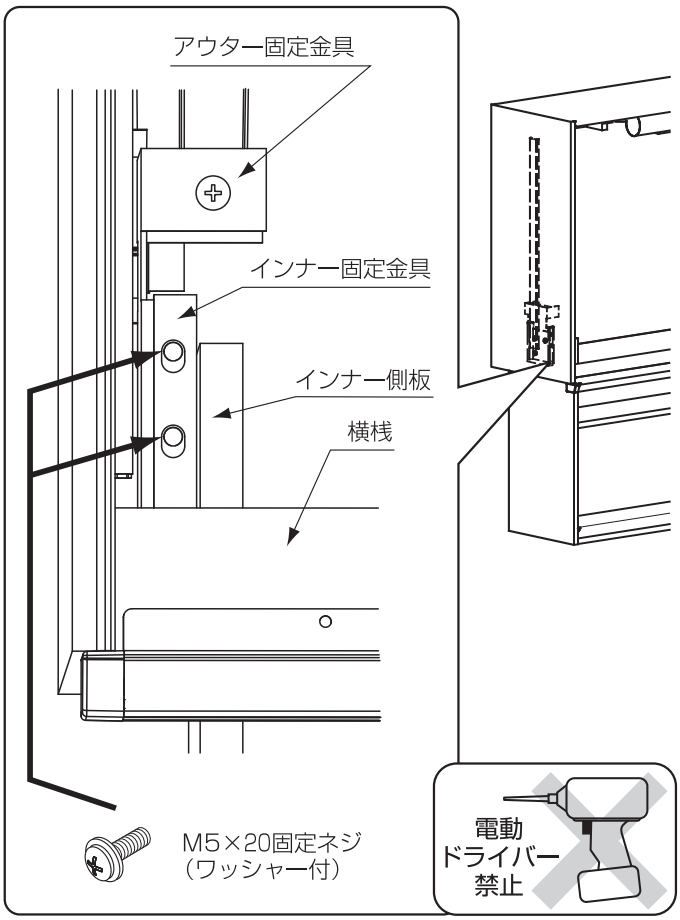
●インナーキャビネットをアウターキャビネットの下より入れ、インナー固定金具をアウター金具に引っ掛け、仮固定します。

●横桟に取り付けられている照明ユニット、スイッチユニットを傷つけないよう、十分に注意して作業を行ってください。



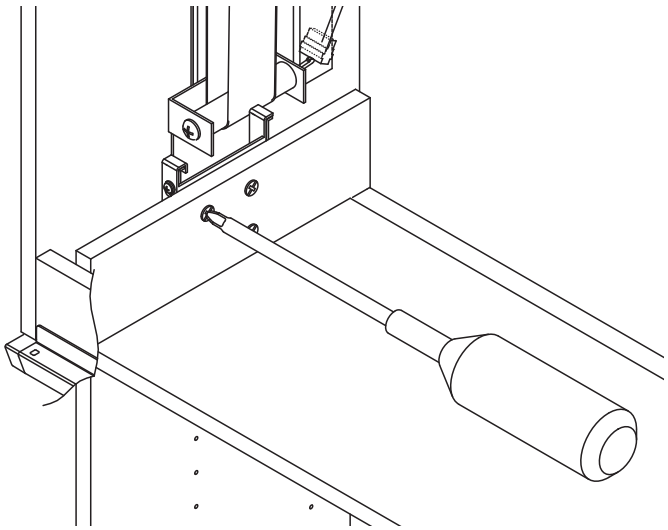
(3) インナーキャビネットの固定

●同梱のM5×20固定ネジを使い、インナー固定金具とアウター固定金具を固定します。
※R/Lそれぞれ2箇所固定します。



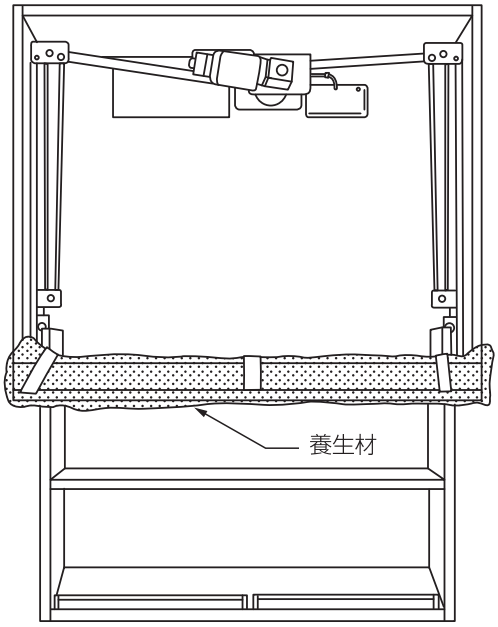
(4) インナーキャビネットの調整

●取付後、インナーキャビネットが傾いている場合、インナー固定金具のネジを一度緩め、調整後にしっかりと締めなおします。



(5) 養生材の取り外し

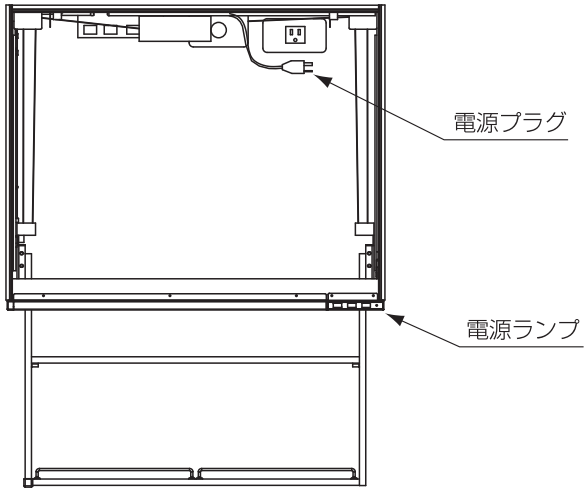
●アウターキャビネット横桟に取り付けられている養生材を取り外します。



2-4 動作確認

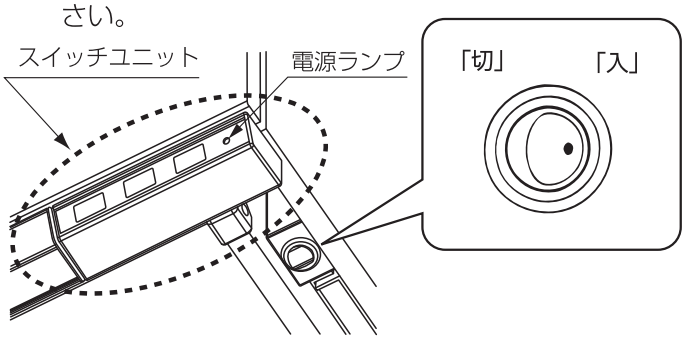
(1) 電源の供給

●電源プラグを差し込みます。
電源がきていない時は、延長コード等で仮電源を取ってください。
※延長コードはアウターキャビネットとインナーキャビネットの隙間から入れてください。
機器にはさまれないようじゅうぶん確認してください。
上昇する際は延長コードの長さに注意してください。



(2) 電源スイッチの確認

●電源スイッチ(グレー)を「入」にします。
※電源ランプ(緑色)が点灯している事を確認してください。



(3) 操作方法

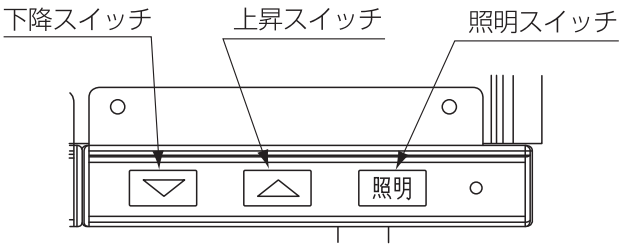
●スイッチユニットを操作し、動作確認を行ってください。

☆**上昇、下降動作確認**

上昇スイッチ、下降スイッチをしっかりと押します。
スイッチを押している間、収納庫が昇降します。
昇降動作の際、配線の干渉や、キャビネット間の干渉がないことを確認してください。

☆**照明動作確認**

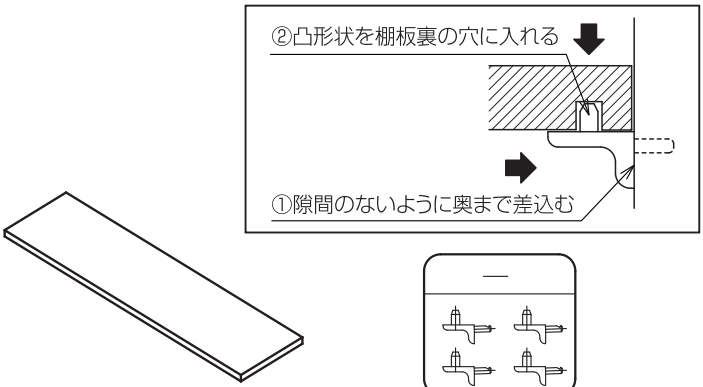
照明スイッチを押す度、ON/OFFが切り替わる仕様です。
点灯／消灯が問題ない事を確認してください。

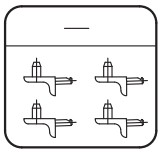


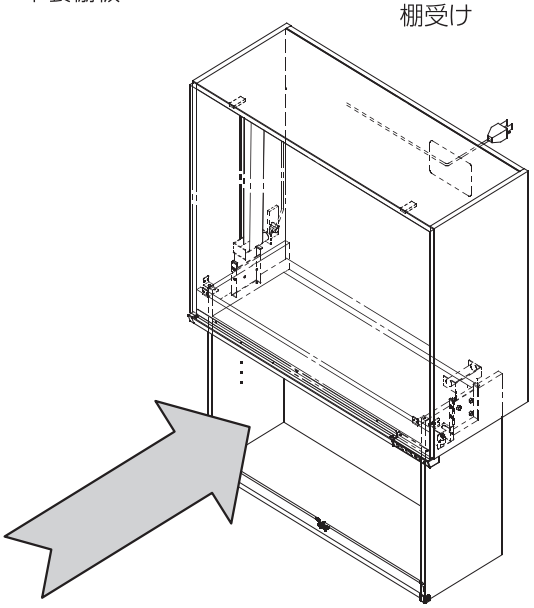
(4) 付属品の取付

●**インナーキャビネットが下降した状態で棚板をセットします。**

棚受けは隙間のないよう奥まで差し込み、棚板裏の穴に棚受けの凸形状へ棚板を確実に載せてください。







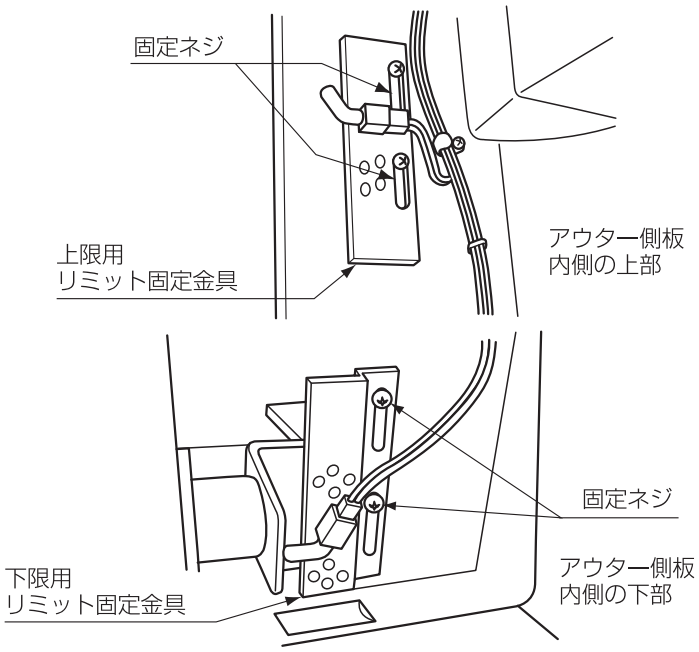
(5) プラグの壁面コンセントの差込み

必ず行う

※仮電源で昇降させている場合は、インナーキャビネット上昇後、電源プラグを壁面のコンセントに差込み直す。

(6) インナー上限、下限干渉時の調整方法

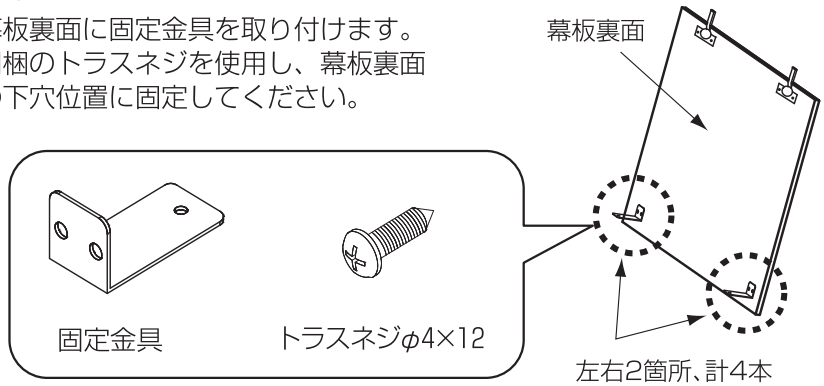
- **上限位置の調整**（上限位置が低く、インナーキャビネットがアウターキャビネットにきちんと収まらない場合）
  上限用リミット固定金具のネジをゆるめ、金具を上にずらし、再びネジをしめつけます。
  上限位置は初期状態から上方に2㎜程度を目安にし、上昇ストップ時にレール端末に金具がぶつからないように調整してください。
- **下限位置の調整**（障害物があって下限位置を若干上げたい場合に限る）
  下限用リミット固定金具のネジをゆるめ、金具を下にずらし、再びネジをしめつけます。
  下限位置は上方に20㎜まで調整できます。



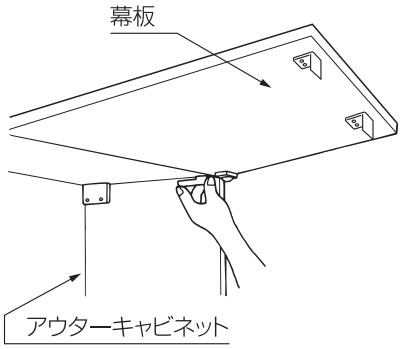
2-5 幕板の取付け、調整

(1) 幕板取り付け準備

幕板裏面に固定金具を取り付けます。
同梱のトラスネジを使用し、幕板裏面の下穴位置に固定してください。

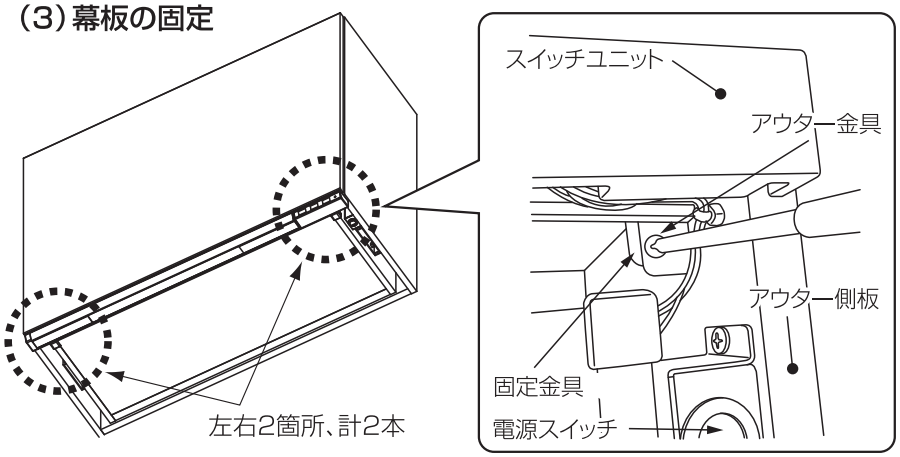


(2) 幕板の取付け



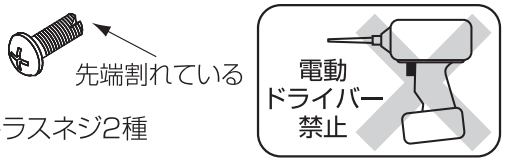
幕板上部の丁番を座に取付けます。

(3) 幕板の固定

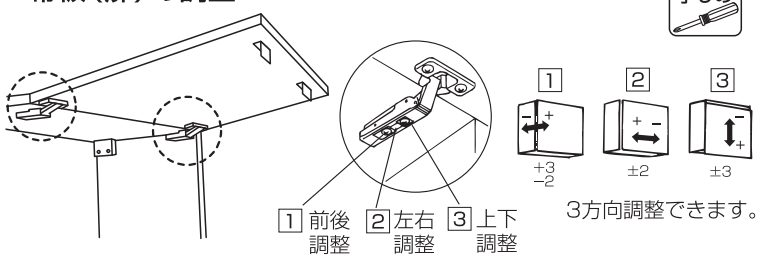


キャビネット下面より、幕板とアウターキャビネットを固定します。
同梱のトラスネジ2種φ4×10を使用し、アウター金具と、固定金具を固定します。

※電動ドライバーは使用しないでください。
※配線を巻き込まないよう注意してください。



幕板（扉）の調整



1 **前後調整**　右にまわすと「−」、左にまわすと「+」方向へ調整できます。

2 **左右調整**　ネジをゆるめ、左右調整後しめます。

ゆるめすぎない
ゆるめすぎると扉がはずれてしまいます。

3 **上下調整**　右にまわすと「−」、左にまわすと「+」方向へ調整できます。

※照明やスイッチユニットと幕板が干渉しないように調整してください。

点検確認

チェックリスト　必ず確認

点検項目		点検内容	チェック
アウターキャビネット設置		インナーキャビネットがアウターキャビネットに収納されていますか。	
インナーキャビネット設置		取付・設置説明書の通りに設置されていますか。	
幕板の取付け		幕板の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみはありませんか。	
その機器及び周辺	付属品	正しく取りつけられていますか。また不足はありませんか。	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離・火災予防上の措置は十分ですか。	
	設置条件	障害物との離隔距離は十分ですか。	
電気工事		プラグはきちんと差し込まれていますか。	
セットの確認	配線	コネクターは正しく取付いていますか。	
	操作部	上昇・下降は正しく作動しますか。	
	照明部	照明は正しく点灯・消灯しますか。	

取付・設置担当者へのお願い

1. 掃除と養生

●取付・設置後のキャビネット、幕板、取付部材のホコリ・汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。
家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして、幕板やキャビネットの表面を傷めます。
●取付後、内装工事などの後工事がある場合は養生を行ってください。
●幕板の表面保護シートをきれいにはがしてください。

2. 取付・設置後のチェック

●キャビネット、取付部材が確実に固定されているか確認してください。

3. 後工事の説明と引継ぎ

●建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引継いでください。
●取扱説明書は確実にお客さまに届くよう配慮してください。

4. 廃棄処分について

●廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

⚠注意　**幕板の傾き、ガタ付き、丁番のゆるみがないことを確認する。**
使用中に幕板が落下して、けがをする恐れがあります。

株式会社 LIXIL

http://www.lixil.co.jp/

7173495 LADトリツケセッチセツメイショ　13.01 KAP